



つぶちゃんとお散歩したら、店頭で新鮮なお野菜を販売しているお店を発見。中を覗いてみたら、こちらはバッグや洋服・布小物などの手芸品がずらり。「ここは雑貨屋さん？八百屋さん??」でも、看板には“ハウスクリーニング”、“リフォーム”って書いてあるし...

つぶちゃんと顔を見合わせていたら、お店の奥から「いらっしゃいませ。」と明るい声が。お話を聞いてみよう♪



明るい笑顔で迎えてくれた村田さんは、ここ「有限会社クリーンチャオ」を起業された社長さん。古民家への興味から、「古い建物でも、清潔で手入れが行き届いていけば素晴らしい住まいとなる。」ということを実感。インテリアスクールで学んだ後、1992年にハウスクリーニング業を開業したんだって。子育てしながらのスタートだったというから、その行動力には目を張るものがあるね。



「私は何かしら動いていたい性格なんです。」と柔らかな笑顔を見せてくれた村田さん。ハウスクリーニングを仕事にすると決めた当時は、自宅を実験台に様々な洗剤を研究し、その特徴を頭に叩き込んでいったそう。「汚れの性質を見極め、それに合った洗剤や方法を選ぶことが何より大事！汚れが落ちないと悔しくて仕方がない。それをクリアした時の達成感はたまらないです！」と話す姿がすごく楽しそう♪

そんな村田さんはハウスクリーニング業に留まらず、建築に関わる職人さんとのネットワークを広げて内装業もスタート。さらには、ご自身の趣味だった手芸品のコーナーを社内に設け、市内外の作家さんの作品を委託販売して制作活動を応援するように。



私たちが最初に足を留めた野菜の店頭販売も、東日本大震災で被害を受けた千葉県農家を助けるために始めたのがきっかけ。現在では三郷市内の農家の新鮮野菜を取り扱っていて、採れたて野菜を目当てに訪れるお客さんも、たくさんいるんだって。



お話を聞くほどに、仕事を楽しみながら信念を持って行動する村田さんの魅力が見えてくるね。そんなクリーンチャオのハウスクリーニングは、「一間から一軒まで」がモットー。ぜひ気軽に相談してみてね！